### 国土交通省からのお願い

# トラックの安全性評価開始に向けたアンケート調査への協力依頼について

# 自動車運送事業者の皆さまへ

平素より国土交通行政にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

国土交通省では自動車アセスメント事業にてユーザーが安全な自動車選びをしやすい環境を整えるとともに、メーカーによる安全な自動車の開発を促すことによって安全な自動車の普及を促進する目的で、自動車の安全性能に関する評価等を実施し、広くユーザーに公表しているところですが、この度、商用車も対象に加えることについて検討を開始したところです。

導入検討に際し、広く事業者の皆様のご意見をうかがいたく、アンケート調査を実施したいと考えております。

お手数ではございますが、以下の方法により、PC、スマートフォン等にてアンケートにご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

・下記のアンケート URL よりアクセス

https://form.gooker.jp/Q/ja/anzen/n/

または

・右の QR コードによりアクセス



#### ※アンケート回答時の注意点

- ブラウザ(Edge、Chrome等)の「戻る」は使用せず、 アンケート内の「戻る」を使用ください。
- ※アンケートの質問内容は、別紙をご参照ください。

<u>令和7年10月31日(金)</u>までにご回答いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。 令和7年11月7日(金)(回答期間延長)

※ご回答いただいた内容は、上記目的以外には使用しません。回答内容を監査の端緒等にすることはありません。

#### 【調査主体】

国土交通省物流•自動車局技術•環境政策課 担当:白藤

東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL: 03-5253-8111 (内線 42254)

【お問い合わせ先(調査受託者)】

社会システム株式会社 担当:東野、瀬戸口、土屋

東京都渋谷区恵比寿 1-20-22 三富ビル

TEL: 03-5791-1133

(別紙)

# 商用車への自動車アセスメント導入に係る調査票

回答の際には個人の見解ではなく、企業全体としての意見を ご提出いただきますようお願いいたします。 (各営業所ごとの回答ではなく、本社等でまとめてご回答ください。)

問 1. 貴社名をご記入ください。( )
問 2. 本社の企業所在地の都道府県を選択してください。( )
問3. 企業全体の従業員規模を選択してください。
① 10人以下 ② 11~20人 ③ 21~30人 ④ 31~50人
⑤ 101~200人 ⑥ 201~300人 ⑦ 301~1,000人
⑧ 1,001 人以上
問 4. 企業全体の車両総重量別保有台数(緑ナンバー、黒ナンバーが対象)をご記入ください。
• 2t 以下(軽バン等)台
• 2t 超~3.5t 以下(商用バン等)台
• 3.5t 超~8t 以下台
• 8t 超~20t 以下台
• 20t 超~25t台
<ul><li>・トレーラー</li></ul>
• その他台
問 5. 問 4 で回答いただいた保有車両について、車両総重量別の主な用途について選択してくださ
UN <sub>o</sub>
・宅配配送(集配所〜企業等・個人宅への配送)
・地場配送・ルート配送(主にセンター~企業等への配送)
・中・長距離輸送(県を跨ぐ輸送や都市間輸送等)
問 6. 車両の調達時に優先する事項を選択してください。(複数選択可)
① 値段 ② 燃費 ③ 安全装備 ④ 快適装備 ⑤ 最大積載量
⑥ メンテナンス性 ⑦ メーカー ⑧ ディーラー営業との関係
9 その他 ( )
問7. 特に防ぎたい事故や危険走行等を選択してください。(複数選択可)
①右折時の対向車との衝突(自動車、バイク) ②右左折時の自転車、歩行者との衝突
③右左折時の巻き込み ④対向車との正面衝突(自動車、バイク) ⑤後ろからの追突
⑥交差点の出会い頭事故(対自動車、バイク)    ⑦歩行者の飛び出しによる事故
◎路上横臥による事故 ⑨自走事故(サイドブレーキの引き忘れ等) ⑩横転事故
①逆走 ②走行時の荷台上部の接触 ③後退時の建造物等への接触
(4)駐車場内、敷地内走行時の接触 (5)覚低走行時の事故 (6)健康起因((5)以外)
①飲酒運転 18その他( )

問8. 車両への搭載を希望する予防安全装置を選択してください。(複数選択可)
①エンジン・ブレーキ制御について
①-1 衝突被害軽減ブレーキ:交差点 ①-2 衝突被害軽減ブレーキ:対自転車
①-3 衝突被害軽減ブレーキ:後退時 ①-4 ペダル踏み間違い時加速抑制装置
①-5 巻き込み防止ブレーキ
②警報•情報提供
②-1 ふらつき警報 ②-2 交通標識認識機能(TSR) ②-3 車間距離警報
③走行支援
③-1 レーンキープアシスト ③-2 クルーズコントロール(ACC)
④視界補助
④-1 ブラインドスポットモニター
⑤ドライバー監視
⑤-1 ドライバーモニタリング ⑤-2 ドライバー異常時対応システム (EDSS)
<ul><li>⑥その他</li></ul>
⑥-1 事故自動緊急通報装置 ⑥-2 アルコールインターロック
問 9. 商用車アセスメントによる評価結果の公表が始まった際、どのような情報があると良いです
か。
① 搭載されている予防安全装置(どのような予防安全装置が搭載されているかの情報)
② 搭載されている予防安全装置の性能評価(搭載されている予防安全装置により、どのような事
故 を防止できるかに関する情報)
③ 衝突安全性能の評価(衝突事故の際の乗員や、事故相手の保護に関する性能の情報)
④ 車両全体としての安全性能の評価(予防安全装置の性能や衝突安全性能等、車両全体で見た 際
の安全性能に関する情報)
⑤ その他( )
問 10. その他、商用車アセスメント等に関して、ご意見がありましたらご記入ください。
(

# ご協力ありがとうございました。

頂いたご回答を基に、車両安全性の向上に寄与するための自動車アセスメントの活動を 進めてまいります。

#### 【調査主体】

国土交通省物流•自動車局技術•環境政策課 担当:白藤

東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL: 03-5253-8111 (内線 42254)

#### 【お問い合わせ先(調査受託者)】

社会システム株式会社 担当:東野、瀬戸口、土屋

東京都渋谷区恵比寿 1-20-22 三富ビル

TEL: 03-5791-1133